

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和3年4月～6月期）

《全業種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和2年4～6月）と比べた 今期（令和3年4～6月）の状況				前期（令和3年1～3月）と比べた 今期（令和3年4～6月）の状況				今期（令和3年1～3月）と比べた 来期（令和3年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	50.8	21.3	27.9	23.0	32.8	34.4	32.8	0.0	27.9	44.3	27.9	0.0
2 採算	37.7	32.8	29.5	8.2	19.4	53.2	27.4	△ 8.1	25.4	45.8	28.8	△ 3.4
3 仕入単価	37.7	60.7	1.6	36.1	33.9	64.5	1.6	32.3	28.8	71.2	0.0	28.8
4 従業員数					8.3	88.3	3.3	5.0	3.4	94.8	1.7	1.7
5 資金繰り					5.1	81.4	13.6	△ 8.5	7.0	77.2	15.8	△ 8.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		18.0	42.6	39.3		-21.3		32.8	34.4		32.8	0.0		3.3

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	53.2	14.5	4.8	72.6	8 設備店舗の狭小・老朽化	4.8	9.7	11.3	25.8
2 大企業進出による競争激化	6.5	6.5	4.8	17.7	9 取引条件の悪化	0.0	1.6	0.0	1.6
3 製品・商品単価の下落	0.0	1.6	4.8	6.5	10 事業資金の確保難	1.6	9.7	6.5	17.7
4 原材料高及び不足	12.9	8.1	9.7	30.6	11 需要の停滞	6.5	25.8	6.5	38.7
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	9.7	6.5	9.7	25.8	13 その他	4.8	3.2	3.2	11.3
7 人件費の増加	0.0	4.8	4.8	9.7	無回答	0.0	8.1	33.9	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《製造業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和2年4～6月）と比べた 今期（令和3年4～6月）の状況				前期（令和3年1～3月）と比べた 今期（令和3年4～6月）の状況				今期（令和3年1～3月）と比べた 来期（令和3年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	55.6	0.0	44.4	11.1	33.3	0.0	66.7	△ 33.3	22.2	22.2	55.6	△ 33.3
2 採算	55.6	0.0	44.4	11.1	22.2	22.2	55.6	△ 33.3	22.2	22.2	55.6	△ 33.3
3 仕入単価	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0
4 従業員数					12.5	75.0	12.5	0.0	12.5	87.5	0.0	12.5
5 資金繰り					0.0	77.8	22.2	△ 22.2	11.1	55.6	33.3	△ 22.2

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.2	22.2	55.6		△ 33.3		22.2	33.3		44.4	△ 22.2		22.2

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	66.7	11.1	0.0	77.8	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	11.1	33.3	44.4
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	11.1	0.0	11.1
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	11.1	11.1	11 需要の停滞	22.2	33.3	11.1	66.7
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	11.1	11.1	0.0	22.2	13 その他	0.0	11.1	11.1	22.2
7 人件費の増加	0.0	11.1	11.1	22.2	無回答	0.0	0.0	22.2	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・各種イベント、大会等の中止により、付随する印刷物の需要がないことによる売上の減少。
- ・コロナにより受注減少。県外の営業が出来ない状況。
- ・今後もイベントの中止が続いた場合のダメージは大きい。それを想定し、どう補っていくかが課題。
- ・鋼材、アルミ材、ステンレス、すべて値上がりしている。
- ・コロナによる減少分を補うため、商品改良や新商品開発を進めている。

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和2年4~6月)と比べた 今期(令和3年4~6月)の状況				前期(令和3年1~3月)と比べた 今期(令和3年4~6月)の状況				今期(令和3年1~3月)と比べた 来期(令和3年7~9月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	14.3	42.9	42.9	△ 28.6	25.0	37.5	37.5	△ 12.5
2 採算	25.0	62.5	12.5	12.5	12.5	75.0	12.5	0.0	25.0	62.5	12.5	12.5
3 仕入単価	62.5	37.5	0.0	62.5	50.0	50.0	0.0	50.0	75.0	25.0	0.0	75.0
4 従業員数					12.5	87.5	0.0	12.5	12.5	75.0	12.5	0.0
5 資金繰り					0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		28.6	71.4	0.0		28.6		42.9	42.9		14.3	28.6		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	12.5	25.0	0.0	37.5	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	12.5	0.0	12.5
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	12.5	0.0	12.5
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	12.5	0.0	12.5
4 原材料高及び不足	50.0	12.5	0.0	62.5	11 需要の停滞	0.0	0.0	0.0	0.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	25.0	0.0	37.5	62.5	13 その他	12.5	0.0	0.0	12.5
7 人件費の増加	0.0	12.5	12.5	25.0	無回答	0.0	12.5	50.0	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ ウッドショック等材料が値上がりし、確保も難しくなってきた。
 - ・ 従業員の高齢化による新規求人を行っているが応募がない。
 - ・ 業務拡張を行いたいが入手不足で厳しい状況。
 - ・ 個人住宅の新築物件の建築が多い。
 - ・ 工場部品調達に影響が出ているようで、エコキュートやエアコンの一部商品が半年の入荷待ちになるなど、今後の売上減少が懸念される。
- ・ 基幹事業が売上減少傾向にあるため、新しい事業展開等を検討したい。
 - ・ 資材の高騰。

《卸・小売業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和2年4～6月)と比べた 今期(令和3年4～6月)の状況				前期(令和3年1～3月)と比べた 今期(令和3年4～6月)の状況				今期(令和3年1～3月)と比べた 来期(令和3年7～9月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	44.4	22.2	33.3	11.1	31.6	36.8	31.6	0.0	27.8	44.4	27.8	0.0
2 採算	38.9	33.3	27.8	11.1	21.1	52.6	26.3	△ 5.3	29.4	47.1	23.5	5.9
3 仕入単価	38.9	55.6	5.6	33.3	26.3	68.4	5.3	21.1	11.1	88.9	0.0	11.1
4 従業員数					5.3	94.7	0.0	5.3	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り					11.1	72.2	16.7	△ 5.6	5.9	70.6	23.5	△ 17.6

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		26.3	47.4	26.3		0.0		31.6	47.4		21.1	10.5		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	42.1	10.5	15.8	68.4	8 設備店舗の狭小・老朽化	10.5	15.8	5.3	31.6
2 大企業進出による競争激化	10.5	10.5	5.3	26.3	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	5.3	10.5	15.8	10 事業資金の確保難	5.3	10.5	10.5	26.3
4 原材料高及び不足	15.8	0.0	5.3	21.1	11 需要の停滞	5.3	26.3	10.5	42.1
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	5.3	10.5	5.3	21.1	13 その他	5.3	0.0	0.0	5.3
7 人件費の増加	0.0	5.3	5.3	10.5	無回答	0.0	5.3	26.3	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ ITを活用した販売戦略を立てたいが人材不足のうえ、雇用する資金的余裕もない。
- ・ コロナ関連の入札物件は減少傾向にある。
- ・ ホームセンターの参入で、卸売業界は今後状況の悪化が見込まれる。
- ・ 卸売業界は大手ほど厳しい状況にある。

- ・ 小売業界の業況は悪化している。
- ・ テイクアウトが好調でイートインが開始できない。
- ・ 人員確保の問題から営業時間の短縮を検討している。
- ・ 半導体等部品の供給不足により生産ラインが動かず、新製品の調達が困難。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和2年4～6月)と比べた 今期(令和3年4～6月)の状況				前期(令和3年1～3月)と比べた 今期(令和3年4～6月)の状況				今期(令和3年1～3月)と比べた 来期(令和3年7～9月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	57.1	28.6	14.3	42.9	42.9	42.9	14.3	28.6	28.6	64.3	7.1	21.4
2 採算	42.9	28.6	28.6	14.3	21.4	64.3	14.3	7.1	21.4	57.1	21.4	0.0
3 仕入単価	14.3	85.7	0.0	14.3	21.4	78.6	0.0	21.4	21.4	78.6	0.0	21.4
4 従業員数	/	/	/	/	7.1	92.9	0.0	7.1	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り	/	/	/	/	0.0	92.3	7.7	△ 7.7	7.7	92.3	0.0	7.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		7.1	50.0	42.9		-35.7		57.1	0.0		42.9	14.3		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	71.4	7.1	0.0	78.6	8 設備店舗の狭小・老朽化	7.1	7.1	7.1	21.4
2 大企業進出による競争激化	14.3	14.3	7.1	35.7	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	7.1	14.3	21.4
4 原材料高及び不足	0.0	7.1	7.1	14.3	11 需要の停滞	0.0	28.6	0.0	28.6
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	0.0	7.1	14.3	21.4	13 その他	7.1	7.1	7.1	21.4
7 人件費の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	無回答	0.0	14.3	42.9	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ コロナでメーカーが来店しないため、商品の実物を見ることができず、商品の良さがわからない。
 - ・ 山陰からの来店が増え、マクローリズムのニーズが高まったように感じる。
 - ・ コロナの影響で予定を立てることが難しく、シフトを組みづらい。
 - ・ 来店サイクルが伸びている。
- ・ お客様の家族からの一言で来店を拒まれるケースがある。
 - ・ 昨年より今年の方が売上が減少している。

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和2年4~6月)と比べた 今期(令和3年4~6月)の状況				前期(令和3年1~3月)と比べた 今期(令和3年4~6月)の状況				今期(令和3年1~3月)と比べた 来期(令和3年7~9月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	66.7	16.7	16.7	50.0	33.3	41.7	25.0	8.3	33.3	41.7	25.0	8.3
2 採 算	25.0	41.7	33.3	△ 8.3	16.7	50.0	33.3	△ 16.7	27.3	36.4	36.4	△ 9.1
3 仕 入 単 価	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	54.5	45.5	0.0	54.5
4 従 業 員 数					9.1	81.8	9.1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り					9.1	72.7	18.2	△ 9.1	10.0	70.0	20.0	△ 10.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		8.3	25.0	66.7		-58.3		8.3	50.0		41.7	-33.3		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	66.7	25.0	0.0	91.7	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	0.0	16.7	16.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	8.3	8.3	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	8.3	8.3	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	8.3	25.0	25.0	58.3	11 需 要 の 停 滞	8.3	33.3	8.3	50.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	16.7	0.0	0.0	16.7	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	無 回 答	0.0	8.3	33.3	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ コロナ感染者の増加で方向性が見えない。方針も絞れない。
- ・ コロナ感染者が出ると来店客が減少する。
- ・ 外食自粛で家飲みが増加。サービスをしても来店が減少しているため採算は低迷。今後の方針も目途が立たない状況。
- ・ 飲食店向けの業者も厳しい状況に追い込まれている。